



最近、「ダイバーシティ（国籍や性別、年齢などが異なる多様な人材が活躍できること）」や「インクルージョン（それぞれの個性や能力、考え方を認め合いながら活躍できること）」という言葉をよく耳にしませんか。社会も職場もどんどん変化しており、私たち一人ひとりも考え方をアップデートする時代です。

そのような中で注目されているのが「アンコンシャス・バイアス」。これは、自分でも気づかないうちに持っている思い込みや決めつけのことで、たとえば「男性は仕事、女性は家庭」といった、性別で役割を分ける考え方もその一つです。

あなたは、いくつ、あてはまりましたか？

ここに挙げたものはごく一部です。まだまだ日常には、アンコンシャス・バイアスがあふれていて、誰でも少なからず持っているものです。これまでの経験や周囲から受けたメッセージ、メディア等の影響によって作られてきたもので、それ自体に良し悪しはありません。

しかし、気づかずにいると、そこから生まれた言動が、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、キャリアに影響を与えたり、自分自身の可能性を狭めてしまうなど、さまざまな影響を与える恐れがあるので注意が必要です。

## チェックしてみよう！

### 仕事編

- ☐ 体力的にハードな仕事は、女性より男性がするべきだと思う
- ☐ 管理職は男性の方が向いている
- ☐ 「親が単身赴任中」と聞くと「父親」を思い浮かべる
- ☐ お茶出し、受付対応、看護師、保育士というと、女性を思い浮かべる

### くらし編

- ☐ 料理や裁縫は女性の方が得意だと思う
- ☐ 家を継ぐのは、男性であるべきだと思う
- ☐ PTA には女性が参加した方がよい
- ☐ デートや食事のお金は男性が負担するべきだ

### 学校編

- ☐ そうじは女子がするほうがきれいにできると思う
- ☐ 男子が泣いていたら「男の子なのに」と思う
- ☐ 野球部は男子が入部するものだと思う

昨年の夏、無作為に選ばれた町民の皆さんを対象に、第8次大口町総合計画の策定に向けたアンケートを実施しました。そのアンケートの中に、アンコンシャス・バイアスに関する内容も含めましたので結果をご紹介します。あなたはどのように感じられますか？



## ■女性が職業をもつことに対する意識

	大口町		(参考) 世論調査
	2012 年	2025 年	2022 年
女性は職業をもたない方がよい	3.1 %	0.6 %	0.7 %
結婚するまでは職業をもつ方がよい	6.4 %	1.3 %	2.6 %
子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	8.0 %	4.6 %	7.7 %
子どもができて、職業を続ける方がよい	24.5 %	46.0 %	59.5 %
子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら職業をもつ方がよい	42.2 %	22.4 %	27.1 %
わからない	5.5 %	13.8 %	※
その他・無回答	10.4 %	11.3 %	2.4 %



(参考) 世論調査…令和4年男女共同参画社会に関する世論調査（内閣府男女共同参画局）  
※…世論調査では設問なし

女性が職業をもつことに対する意識は、2012年の調査結果と比較し、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら職業をもつ方がよい」が19.8ポイント減少し、「子どもができて、職業を続ける方がよい」が21.5ポイント増加しました。

女性が職業をもち続けることを肯定的にとらえる考え方が、より一般的になったと考えられます。

## ■「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

	大口町		(参考) 世論調査
	2012 年	2025 年	2024 年
賛成・どちらかといえば賛成	39.5 %	12.3 %	33.1 %
どちらともいえない	26.6 %	47.8 %	※
どちらかといえば反対・反対	32.6 %	37.6 %	64.8 %
その他・無回答	1.4 %	2.2 %	2.1 %



(参考) 世論調査…令和6年男女共同参画社会に関する世論調査（内閣府男女共同参画局）  
※…世論調査では設問なし

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「賛成・どちらかといえば賛成」が、2012年の調査結果と比較し27.2ポイント減少しました。一方、「どちらともいえない」が21.2ポイント増加し、全体の約半数を占める結果となりました。「どちらかといえば反対・反対」は、前回から大きな変化が見られません。

アンコンシャス・バイアス、特に「男性は仕事」、「女性は家庭」といったような、個人の能力とは関係なく、性別を理由にして役割を固定的に分ける考え方を、「固定的性別役割分担意識」といいます。

アンケート結果からもわかるように、大口町だけでなく、全国的にみても、まだまだ「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」という意識が根強く残っていて、男女共同参画（男女が互いに人権を尊重し、「女性」や「男性」というイメージにあてはめてしまうことなく、一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮できる豊かな社会を目指すこと）がなかなか進まない要因の一つとされています。

「自分に思い込みがあるかもしれない」と意識し、気づこうとすることは、アンコンシャス・バイアスに対処する第一歩。そして、男女共同参画社会をつくる大きな一歩でもあります。これを機会に、あなたのアンコンシャス・バイアスに意識を向けてみてはいかがでしょうか。

## 時代が変わると、常識が変わる ～常識って何だろう～

アンコンシャス・バイアスについても  
分かりやすく解説します。  
ぜひお越しください！

日時 3月7日（土） 開場 午後1時 開演 午後1時30分  
会場 健康文化センター1階 多目的室  
講師 千田純子さん（おおぐち男女共同参画推進会議委員長）  
問合せ先 地域協働課 ☎95-1691

男女共同  
参画セミナー



## 国宝松江城マラソン2025 大口町ランナー力走！

12月7日（日）大口町の姉妹都市である島根県松江市で「国宝松江城マラソン2025」が開催さ

れ、大口町から4名のランナーが参加しました。

松江市総合体育館からスタートし、国宝松江城や宍道湖を眺め、中海を渡り大根島、美保関へと北上します。再び松江市街へ戻る道中の35km地点付近では700m以上続く上り坂を越え、その後も細かなアップダウンを経てスタート地点と同じゴールを目指す風光明媚なコースです。

4名全員が見事42・195kmを完走しました。

### タイムは次のとおり

酒井勇治さん 完走（1）  
本宮健史さん 完走（4時間44分50秒）  
白濱益良さん 完走（5時間25分24秒）  
原 尚登さん 完走（3時間49分04秒）